

22年度決算からみえること

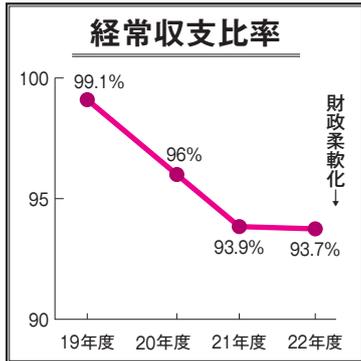
～22年度の小浜市会計決算の認定～

一般会計 歳入 158億1,174万円
歳出 153億 56万円

以下は、他の自治体と比較するために統計上の区分である普通会計の決算状況をもとにしています。

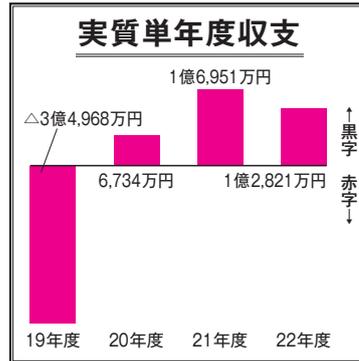
経常収支比率

家計に例えると、給料と食費や光熱水費など生活費との関係。この数値が高いほど、家計のやりくりが苦しいこととなります。



実質単年度収支

家計に例えると、貯金やローンの前倒しなどを行い、単純に給料と生活費のバランスがどうなっているかを見た場合の指標。



収支的には横ばい？
 次に並べた2つのグラフを見ると、21年度から22年度にかけて、ほぼ横ばい。果たして内容も同じなのでしょうか。

義務的経費 性質別構成比

年度	公債費	扶助費	人件費
19年度	28.27	23.28	48.45
20年度	29.20	23.64	47.16
21年度	27.43	25.76	46.81
22年度	27.15	31.03	41.82

義務的経費の総額は増加

- ・人件費は、総額、構成比とも減少。
- ・扶助費は、21年度から22年度にかけて総額、構成比率ともに大幅増加。
- ・公債費は、横ばいで推移。

今後、扶助費の動向がキーポイントになりそうです。

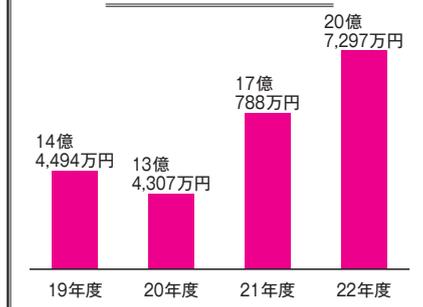
扶助費の支出割合が増加

22年度は計画的に積立てし、貯金増額へ

- ・今後の借金返済への備えのため、計画的に貯金を増額し、20億円台まで回復。

ちなみに 市民一人当たり
約6万5,300円

積立金（貯金）



貯金や借金の状況は？

市民サービス低下は招いてはいけない

- ・定員管理に基づき、職員数削減に取り組み、目標値を超えて達成。(H22年で349人を設定。現員数はH22で316人)
- ・過度の職員削減は、増大する行政需要に耐えられず、市民サービスの低下を招くおそれも懸念されます。

人件費削減はもう限界!!

22年度の歳出のうち、投資的経費は総額で若干減少し、義務的経費は増加しています。その中の扶助費は、総額、比率ともに大幅に増加しています。

これは、子ども手当などの影響もありますが、近年の推移を見ても右肩上がりの傾向は否めません。

また、歳出カットの代名詞であった人件費は、現在までに計画以上の人員削減が進んでおり、今後、歳出の削減を人件費に求めることは非常に難しい状況となっています。

本市には霊場建設などの課題が残されている中、借金返済のピークを迎え、今後の市政運営には、より一層「最小の経費で最大の効果」を求めなければいけません。

義務的経費…家計に例えると、家賃や光熱水費、ローンの返済など、必ず支払わなければならない経費とされています。
 投資的経費…家計に例えると、家などを建てるためのお金に似ているとされています。

借金は計画的に減少

借金（地方債）も毎年約3億円ずつを計画的に返済。と言っても、まだ150億円を超える借金はありますが…。

ちなみに 市民一人当たり
約50万4,600円
(貯金の約10倍…)

地方債（借金）



これからの取り組みは？

可決した意見書

9月定例会では、1件の意見書を可決し、内閣総理大臣をはじめとする関係行政官庁へ送付しました。

意見書の概要は、次のとおりです。(紙面の都合上、項目のみ掲載)

地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること

2. 医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興・環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2012年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること

3. 地方財源の充実・強化をはかるため、国・地方の税収配分5・5を実現する税源移譲と格差是正のための地方交付税確保、地方消費税の充実、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること

総合振興協議会を開催

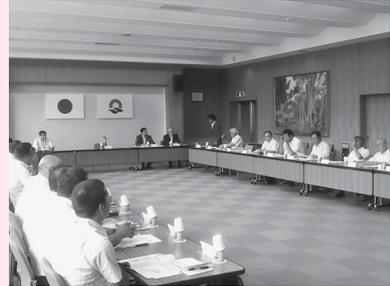
おい町および若狭町・高島市との共通課題、懸案事項について協議する総合振興協議会がそれぞれ行われました。

◎小浜市・おい町
総合振興協議会
とき 8月24日(水)

今年度は、次のテーマで意見交換を行いました。

- ①鳥獣害対策について
- ②観光振興対策について
- ③企業誘致対策について
- ④若狭西街道の復旧状況について

①については、それぞれ対策をしているものの、潜在的に被害は増加していること、市町が連携して恒久金網柵を設置しなければ効果的でないことなどの意見が交わされました。
④については、5月末の豪雨によりかなり大規模な崩落が発生し、いまだに不安定な状況であるため、慎重な地質調査等が必要で、復旧にはかなりの時間を要する説明があったが、対応の遅さに対する指摘、早期復旧を望む意見がありました。



小浜市・おい町総合振興協議会 (おい町役場正庁にて)

◎小浜市・若狭町・高島市
総合振興協議会
とき 8月25日(木)

今年度、次のとおり、役員改選が行われました。

- 会長 駒井議員(高島市)
- 副会長 清水議員(小浜市)
- 監事 富永議員(小浜市)
- 小林議員(若狭町)

その後、事業報告、事業計画等について協議し、原案のとおり決定いたしました。

その際に、委員から、毎年度要望している国道303号と161号の道路整備について、原発事故の問題から避難道路的な扱いができないかなど、今後意見交換が必要との意見がありました。

原子力発電について おい町議会と 意見交換会を実施

とき 10月13日(木)
午後2時～

小浜市議会の原子力発電所安全対策特別委員会とおおい町議会の原子力発電対策特別委員会が合同で意見交換会を実施しました。

両議会で原子力発電所に関する意見交換を行うことは初めての取り組みです。今後も継続的に実施し、お互いの認識を深めていく予定です。



編集後記

見やすい「議会だより」をめざして、頑張っています。皆さんからの声をお待ちしています。

〈広報委員会〉

- 委員長 宮崎 治宇蔵
- 副委員長 小澤 長純
- 委員 西本 清司
- 松崎 圭一郎
- 三木 尚
- 上野 精一



◆ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

皆様の市議会に対するご意見・ご質問・ご要望等を議会事務局宛てのメールでお受けすることができます。メールアドレスは下記のとおりです。
gikai-jimu@ht.city.obama.fukui.jp

◆ホームページで会議録を掲載。

小浜市のホームページで、平成13年9月定例会からの会議録をご覧になれます。URLは、<http://www.city.obama.fukui.jp> メニューの「議事録・会議録」ボタンから。

